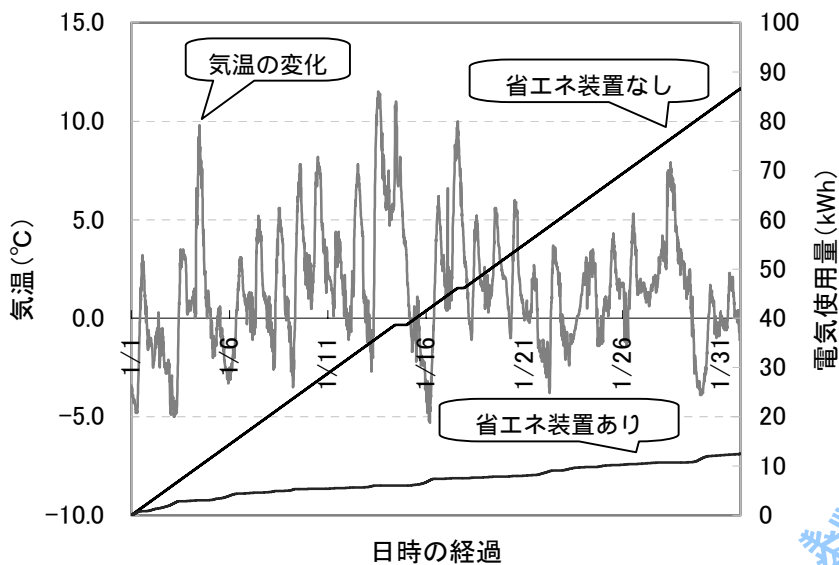


ストップ温暖化センターみやぎ「通信」Vol.22

❏ 水道凍結防止電熱線の省エネモニター実施中！ ❏

センターで実施する水道凍結防止電熱線の省エネについてのモニター調査が、12月と1月の2ヶ月間行われています。11月中に県内5箇所(50世帯)をまわり、調査趣旨を説明の上、節電装置および測定機器の取り付けを行いました。モニターのお宅を訪問すると、築100年以上の大きなお宅もあり地域の歴史と伝統を感じました。電熱線も、多いお宅では9本も使われており、大きな省エネ効果が期待できそうです。太陽熱温水器を設置している家庭では、屋根の上に水を供給する水道管に電熱線を巻いている事例がありました。寒冷地において雨水利用など水に関するものは、トータルで省エネになるかの検証が必要と言えそうです。また、農業分野(牛への給水装置)に利用している事例もあり、農業分野での利用状況についても今後調べていきたいと思えます。



2003年1月の仙台の気温データから、『15W容量の電熱線8mを使用する場合』について、電気使用量を試算した。

*省エネ装置なしでは、3でオン、10でオフと仮定。

*省エネ装置ありでは、電気の流れる頻度を2以上0/10、2～1で1/10、1から3まで4/10、3～5まで7/10、5以下を10/10と仮定して計算。

↓
使用した場合は12.5kWh(287円)
しない場合は86.7kWh(1,994円)
という結果を得た。(電気代は23円/kWhとして計算)

❏ 新しい地球温暖化防止活動推進員が研修中 ❏

11月6日から24名の新しい推進員候補者が、センターで実施する研修を受講しています。研修では地球温暖化問題に関する基礎知識の習得のほか、ワットアワーメーターやエコワットを用いた電気製品の電気使用量の測定や、学習会などでのコミュニケーションの取り方など、実践を重視したプログラムを行っています。昨年度は比較的仙台の方が多かったのですが、今年度は加美町、気仙沼市、石巻市などこれまで推進員がいなかった地域からの参加もあり、今後県内全域で地球温暖化防止の取り組みを推進されると期待しています。



11月6日に行った研修の様子。講師は畑直之氏(気候ネットワーク常任運営委員)